



佐藤 博 議員

農家負担の軽減のため 土地改良事業を尋ねる

問

土地改良事業の直轄化について尋ねる。

(1) 団体事務局の市編入を提言してきたが、その後の経過は。

(2) 農家負担

(3) 団体の人件費等で、農家負担が軽減されると思っている。

今後、(市に3つある)団体の一本化、または市の直轄事業とするよう検討してもらいたい。

農家負担の軽減になるよう進めたい

答 開発部長

(1) 農地は私的財産であり、直轄化は非常に困難と思う。土地改良区の取り扱いについては、関係機関と協議

していきたい。

(2) 経常賦課金は、10a当たり平均7、414円である。

(3) 少しでも農家負担の軽減につながる方向を見出しながら事を進めていきたい。

役所本庁舎の移転について

問

市が中心になり前ヶ須周辺の土地整備事業を実施したら、市街地整備もでき、国道155号もさらに南進し、庁舎の移転ができれば一石三鳥になるのではないかと。

答 市長

市役所の移転改築工事は、耐震性に優れていない庁舎であるので、防災上の拠点ということでは早急に行なうことを考えながら対応していきたい。

問

不在危険家屋の調査が進んだようだが、ここを今後どうするのか。

答 総務部長

対象と思われる家屋が47件あった。修理や撤去は私有財産であり行政の介入には限度があるが、所有者に対し、安全かつ適正に管理してもらうよう呼び掛けていきたい。

問

津島市は、てんぷら油の回収事業をやるようである。

答 民生部長

津島市単独では回収が困難であるとの判断から、海部地区市町村の共同事業としてできないかとの提案が、先の海部郡町村長と市長の懇談会で取り上げられ、今後の検討課題とされた。



耐震性の懸念される市役所